

サイコパスとはどういう者たちか？

渡辺 久義

2017・01・27

サイコパス (psychopath) という言葉がよく使われる。これは病的に冷酷で、同情ということが全くできない、しかし知能は高い人々のことで、正常者との境界線にもよるが、人口の1~2パーセントがそうだとされる。そんな例外的な者たちに何の関係があるかと言われるかもしれないが、権力者、支配者と言われる人々のほとんどがそうだとされる。デイヴィッド・アイクなどは、そういう人間は遺伝的に、“レプティリアン (爬虫類人間)” という特別の外来人種から来ているという。どんな仮説も頭から退けるのではなく、考えて見なければならぬ。

典型的なサイコパスと私が考えているのは、イルミナティ集団を離脱したある女性の告白のビデオに出てくる男である。この女性がまだ幼い子供のころ、子猫を抱いて遊んでいた。するとそこへある男が入ってきて、いきなり猫を取り上げ首を絞めようとした。彼女は大声で泣き叫んだ。すると男は、泣き叫ぶ彼女の顔を、満足げに喜びの表情で見つめていたという。その表情を忘れることができないと彼女は言っていた。この特殊な、悪魔崇拝をベースとする集団から、訓練され選ばれて出てきた者たちが、政治をはじめ各界の指導者の地位につくと言われる。やはり離脱者のスヴァーリ (偽名) という聡明な女性の、詳細な告白 (告発) を読むと、この集団は世界を乗っ取るために、我々とは逆の、徹底的な反人間教育をしている／いたことがわかる。

米大統領選挙の直後に、“ピザゲイト” スキャンダルとして大々的に暴かれたペドフィリア犯罪集団も、単なる犯罪集団ではない。背後に悪魔 (ルシファー) 崇拝があり、これが世界乗っ取り計画につながっている。これを承知していないと、今、世界で起こっていることの本質が理解できない。この事件について推奨できるあるビデオが、冒頭に次のような言葉を引用している——<https://www.youtube.com/watch?v=yCnyz8Q9C4g>

「ほとんどの人が本来、善人であり、ほとんどの人が純朴な人生を送り、問題を起こさないように、人に迷惑をかけないようにしたいと思っている。ほとんどの人々が本来、善良であることから起こる問題は、彼らの善良さが、しばしば彼らを盲目にして、悪というものが本当はどれだけ悪いものであるかを、見えなくすることである。—Claudia Pavonis」

これは、あたかも日本人に“贈ることば”のようではないか。ほとんどの日本人が、徹底した、純粋な悪というものを知らないでいる。ピザゲイトの話聞いても、「そんな話は信じられない、反対派の作り事だろう」「そこまで悪いことができる人間はいないだろう」「誰だって叩けば誇りが出る」といった程度におそらく考えている。もちろん、他人の悪い点は見ないように、よい点だけ見るようにするのが美德だから、それはよいことだとも言える。そういう人間が多ければ、この事件は消えてしまうかもしれない。しかしそうなれば、この事実を人民の意識から消し去ろうと、必死になっている巨悪の勢力に、加勢したことになる。たとえ無知からだとしても、悪に加勢する者はやはり悪人である。外国の識者はそういう目で日本を見ている。

まず、このビデオのタイトルに“Now Recue the Children”とあるように（開いて見てください）、被害者の子供たちはどうする？ 行方不明になっている子供たちは、ちょっとやさつとの数ではないと言われる。そしてこれは“町の暴力団”の話ではない、世界を支配する者たちの話である。民主主義の根幹である選挙結果を、ひっくり返そうとまで画策する者たちが、何をそれほど恐れているのかわかるであろう。トランプとヒラリー・クリントンの決戦は、神側とサタン側の決戦であって、徳川と豊臣の決戦のようなものではない。（これは摂理歴史から見た構図のことであって、トランプが神のようだと言っているのではない。）

ワシントンのサイコパス政治家の中でも、あまりにも常識では考えられず、決定的な証拠が出るまで、その悪事を本当に信ずることはできなかったのが、ニクソン大統領である。彼はベトナムで、何十万の米将兵の命より自分の政治的野心を優先した――

<http://www.dcsociety.org/2012/info2012/170125.pdf>

こういう政治家のサイコパス的な残虐非道のことは、ヒトラーやスターリンや毛沢東については自由に論ずるが、アメリカの政治家や対外政策については、言わないのが礼儀(?)になっている。そのために、どれほど人々が大局を見誤っているか、どれほど道徳的判断を狂わされているか、知れたものではない。新聞がオバマの戦争犯罪については何も言わず、ロシアやトランプを悪魔化すれば、素朴な読者は信ずるだろう。これは犯罪である。オバマを正しく評価すればはこうなる――<http://www.dcsociety.org/2012/info2012/170112.pdf>

自作自演の9・11 テロも、当時のブッシュ政権がこぞってサイコパスでなければ、起こらなかったであろう。真珠湾攻撃をあらかじめ知っていて、自国将兵を退去させなかったF・ルーズベルト大統領も、勝敗がほぼ決着していたのに、広島に原爆を落としたトルーマン大統領も、我々に真似のできない、桁違いのサイコパスであった。